



令和5年度 自治体間連携フォーラム



世田谷区

SETAGAYA CITY

※著作権等により掲載資料は一部となります。

山形県



舟形町の取り組み

～舟形本町地区地域づくり協議会による合同防災訓練～

舟形町の紹介

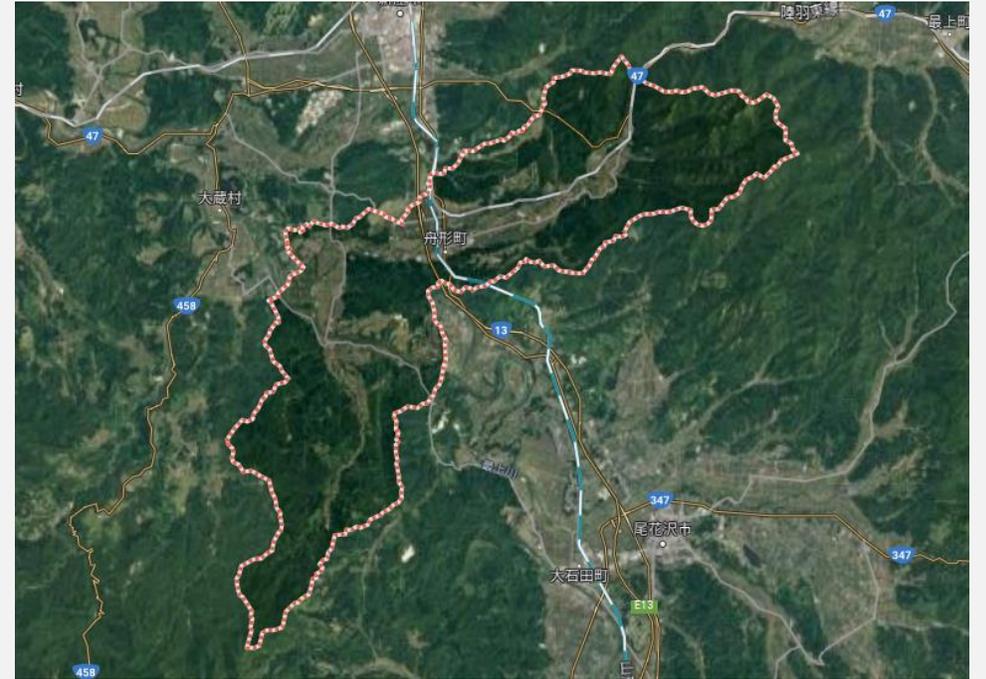
舟形町は、山形県の北東部で最上郡の南端に位置し、南北に6.5キロメートル、東西に27.4キロメートルと南北に狭く、東西に細長い地形です。町の中央を清流小国川が流れ、田畑を潤しながら山形県の母なる川・最上川へと合流します。

町の特産品

- ・あゆ
- ・マッシュルーム
- ・米
- ・山ぶどうワイン 等

国宝

- ・縄文の女神



H30豪雨被害（役場庁舎地下ピロティ浸水被害）

〈通常時〉



〈浸水後〉



H30豪雨被害（舟形第3・第4地区内水氾濫被害）

〈通常時〉



〈冠水により通行不可〉



訓練概要



訓練概要

1. 目的

防災意識を高めるとともに、自分たちの地域は自分たちで守るという共助の行動をみんなで確認し合い、予測不能な災害に備える事。

2. 訓練日時

令和5年9月3日(日) 9:00~10:30

3. 訓練場所

舟形町本町地区・舟形町中央公民館

4. 参加団体

舟形第1・3・4町内会(172戸)、防災委員、役場避難所担当職員
舟形町役場危機管理室、舟形町消防団第3分団第5・6部

想定

午前 9 時、震度 7 の地震発生。家屋倒壊、
火災が多数発生。余震が続いている

訓練內容



訓練内容

0 1



地震発生

- 避難開始、町消防団による呼びかけ

0 2



情報伝達・安否確認・避難誘導訓練

- 各町内会で実施

0 3



避難所訓練

- 避難所受付、パーテーション設置・収納

0 4



講話

- 役場防災担当者による講話



地震発生





情報伝達・安否確認・避難誘導訓練





避難所開設訓練（避難所受付）





避難所開設訓練（受付時使用書類）

【様式1】避難者名簿

避難所名		福祉・長沢・舟小・中公・富長・堀内・その他（ ）		開設期間	令和 年 月 日 時 分から 令和 年 月 日 時 分まで		
番号	氏名	住所	年齢	性別	入所日時	退所日時	備考
記入欄	舟形 太郎	舟形町 舟形・長者原・富田・堀内・長沢 123-45 ●●アパート ●●号室 ※舟形町以外の方 新庄市●●678-9	25歳	男・女	●●月●●日 ●●時●●分	月 日 時 分	
1		舟形町 舟形・長者原・富田・堀内・長沢 ※舟形町以外の方	歳	男・女	月 日 時 分	月 日 時 分	
2		舟形町 舟形・長者原・富田・堀内・長沢 ※舟形町以外の方	歳	男・女	月 日 時 分	月 日 時 分	
3		舟形町 舟形・長者原・富田・堀内・長沢 ※舟形町以外の方	歳	男・女	月 日 時 分	月 日 時 分	
4		舟形町 舟形・長者原・富田・堀内・長沢 ※舟形町以外の方	歳	男・女	月 日 時 分	月 日 時 分	
5		舟形町 舟形・長者原・富田・堀内・長沢 ※舟形町以外の方	歳	男・女	月 日 時 分	月 日 時 分	
計 名		(内 65歳以上 名、乳幼児 名)					

記入例

【様式2】

避難所	福祉・長沢・舟小・中公・富長・堀内・その他（ ）
名簿番号	

記入日：令和●●年●●月●●日

健康状態チェックカード

【氏名】 ●● ●●

【住所】 舟形町 舟形・長沢・長者原・富田・堀内
●●番地

※舟形町以外の方

【連絡先】 (電話番号)

◆体調について

今の体調はどうか	良い	ふつう	悪い
----------	----	-----	----

体調が「悪い」方は以下についてご記入ください。

・37.5℃以上の熱が2週間以内にありましたか。	はい・いいえ
・倦怠感がありますか（強いだるさがありますか）。	はい・いいえ
・息苦しさ、咳やたん、のどの痛みはありますか。	はい・いいえ
・味やにおいを感じにくい状態ですか。	はい・いいえ
・嘔吐や吐き気がありますか。	はい・いいえ
・下痢が続いていますか。	はい・いいえ



避難所開設訓練 (テント設営)





講話





舟形町
縄文の女神と若鮎の里
Funagata Town

Funagata Town
Disaster Prevention
Hazard Map



保存版
2021年3月



防災ハザードマップ

自分の命は自分で守る「自助」、地域の安全は地域で守る「共助」、
行政が行う防災対策である「公助」で災害に強い町へ。






防災ハザードマップとは？
 洪水や土砂災害の危険がある地域と避難所を示したものです。洪水や土砂災害が発生した際に、自宅・職場・学校の周辺や避難所までの経路上に危険がないか、どのようになるかを事前に確認しておきましょう。なお、防災ハザードマップはあくまでも想定図です。また、最上川、最上小国川、ため池の洪水想定区域を示しており、すべての小規模河川、農業用水路、側溝の洪水に係る情報は入っていません。川の降り方や土地の状態によっては、地図に示された区域以外でも洪水や土砂災害が発生することがありますので、十分に注意してください。

15

訓練を終えて



訓練を終えて



災害を想定した訓練を行うことで緊張感を持ちながら訓練ができた。実際に災害が発生した時、今回の訓練を思い出し役立てたい



災害への備えとして、訓練こそが最大の防御策だと思う。今後も町の防災力向上に努めたい。



今後も日頃から防火広報等で火災の防止に努め、いつ火災が発生しても大丈夫なように用具の点検もこまめに行っていく。



ご清聴ありがとうございました。



世田谷「チーム用賀」による棚田存続の取り組み
を通じた自治体間交流

十日町市松代支所長 樋口 彰

30年以上続く交流、世田谷区へ雪のプレゼント



世田谷区と十日町市との連携協定

平成25年11月

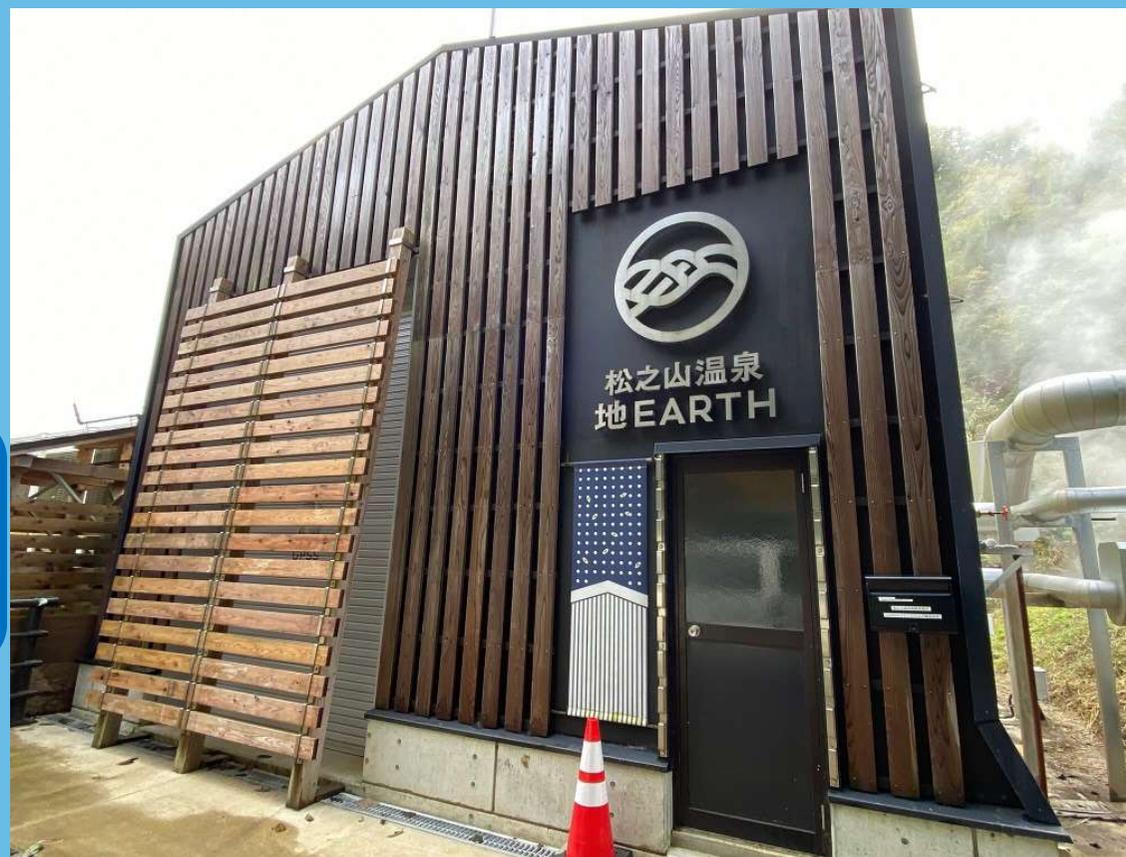
大規模災害時の相互応援協定締結

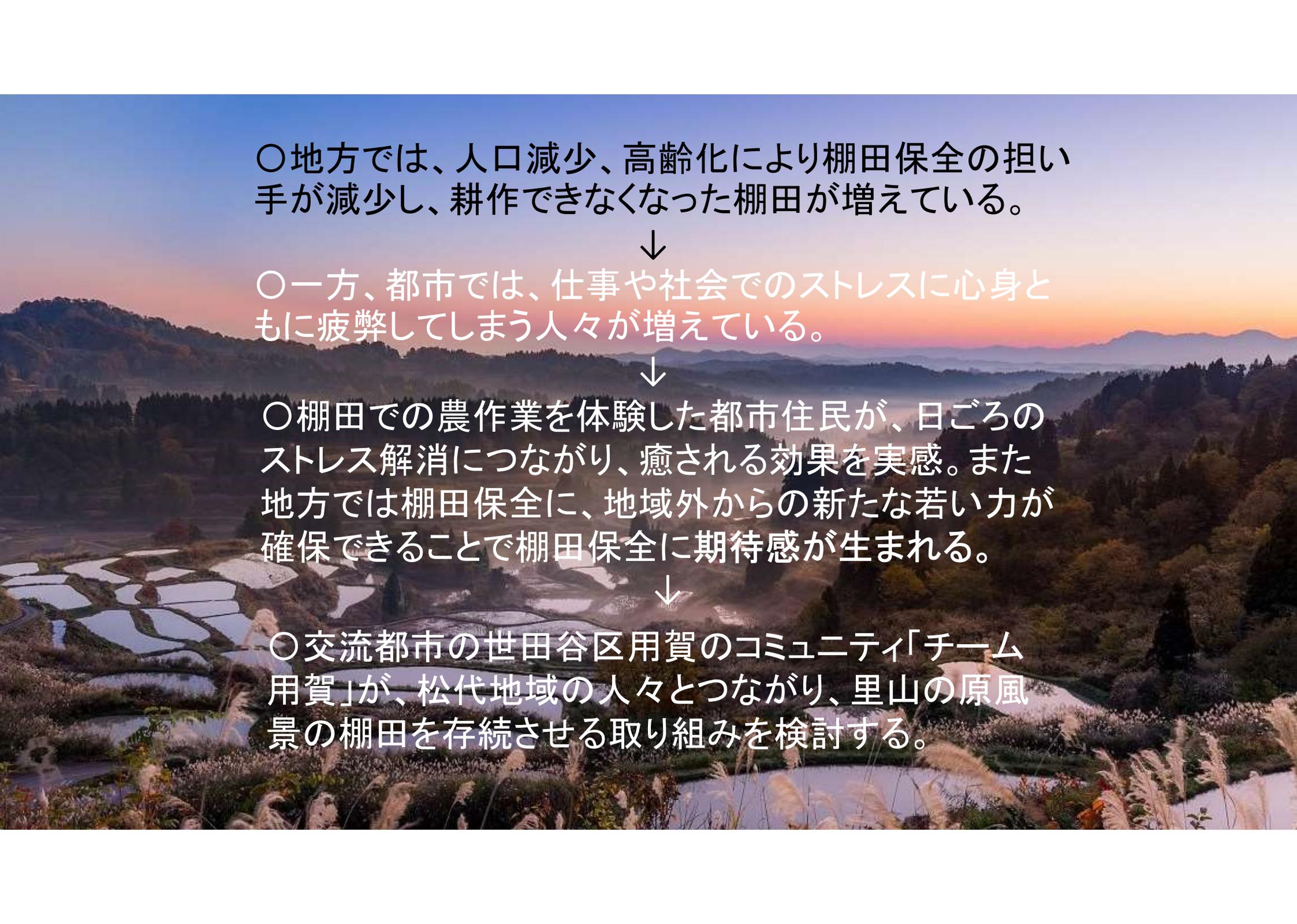
大規模災害時の相互応援協定を締結。非常時に助け合うためには、日頃からの交流が不可欠との認識を共有。

令和2年11月

自然エネルギーの活用を通じた連携協定締結

日本三大薬湯の松之山温泉バイナリー発電の電力を世田谷区内に提供する電力連携が実現





○地方では、人口減少、高齢化により棚田保全の担い手が減少し、耕作できなくなった棚田が増えている。



○一方、都市では、仕事や社会でのストレスに心身ともに疲弊してしまう人々が増えている。



○棚田での農作業を体験した都市住民が、日ごろのストレス解消につながり、癒される効果を実感。また地方では棚田保全に、地域外からの新たな若い力が確保できることで棚田保全に期待感が生まれる。



○交流都市の世田谷区用賀のコミュニティ「チーム用賀」が、松代地域の人々となつながら、里山の原風景の棚田を存続させる取り組みを検討する。

世田谷 「チーム用賀」とは

NPO法人、neomura

- 2005年から開催してきた「用賀サマーフェスティバル」から始まり、2016年にNPO法人化。の“neo”は新たな時代観、“mura”は古き良きムラ社会を表しています。
- 現在、世田谷区用賀を中心に、世田谷区との協働事業であるタマリバタケ、清掃活動やイベント企画、地域における活動支援など、地元のみなさんがどんどんつながって、より活気あふれる街になることを目指して活動中。

フェイスブック コミュニティ「チーム用賀」へ

- 「チーム用賀」は、neomuraメンバーを中心に、世田谷区内の用賀に住む人、用賀で学ぶ人、用賀でお店をやっている人、用賀で働く人、用賀出身の人、用賀に親戚や友人がいる人、など用賀に縁のある方々が地域の枠を超えて集まり、活動したり情報交換したり助け合ったり物を譲り合ったりする「新しい地域コミュニティ」を目指し活動している。
- フェイスブックでの登録メンバー数 約2,200名

世田谷区チーム用賀から、十日町市 ミッション型地域おこし協力隊に応募

Profile

1993年東京生まれ、世田谷区用賀出身

2017年より新卒で都内PR会社に入社

2020年より地元・用賀のNPO法人neomuraで活動。地域コミュニティ「チーム用賀」メンバーと一緒に祭り「用賀サマーフェスティバル」や、ゴミ拾い活動「用賀ブルーハズ」、コミュニティ農園「タマリバタケ」（世田谷区との協働事業）など運営

2021年独立、フリーランス広報として活動 地元・用賀のご縁で松代を訪れる
棚田のポテンシャルに魅力を感じ、2023年4月より十日町市地域おこし協力隊に就任

Mission

「棚田のPRと関係人口創出」を
ミッションとする地域おこし協力隊



星 裕方

Hiroori Hoshi



チーム用賀

公開グループ・メンバー2,183人

Facebookグループ
「チーム用賀」は
現在2,000名規模

チーム用賀の仲間に棚田の魅力を体感できる企画を発信

越後まつだい棚田群



かもろ
蒲生の棚田で
グヨソサイズ
除・草

6月 毎週金・土・日・月
13:00~ 16:00

場所：新潟県十日町市蒲生711-5 蒲生の棚田
費用：実費（ボランティア保険、備品等）
（中学生以下・トロノキ棚田トラスト賛助会員は無料）
持ち物：汚れてもいい服装
（長靴のお貸し出しはございます）
申込方法：下記フォームにてお申込み（団体ごと）
<https://forms.gle/65GQ6XXT6UZ3oyLv9>

お申込フォームは
こちら



01 無農薬・無肥料の天水田を
みんなで手除草



02 作業のあとは絶景温泉へ♪
※任意、入湯料は別途



03 夜には地元食材で懇親会も開催
※希望者が4名以上の場合。会費制
場所は市営宿泊施設の松代棚田ハウス



※宿泊ご希望の団体様は、最大76名まで宿泊可能な「松代棚田ハウス」ほか、提携宿泊施設がございます。
お気軽にお問い合わせ下さい

主催：一般社団法人 トロノキ棚田トラスト
(設立準備中)

お問い合わせ：090-3318-5156 (担当：星)
pr@toronoki.com

越後まつだい棚田群



ほしとうげ
星峠の棚田で
稲刈り&ピザ窯の夕べ

2023年9月23日(土)
12:30まつだい駅集合

お申込は
こちら



場所：新潟県十日町市峠 星峠の棚田
費用：実費（宿泊費目安：5,900円~/泊）
持ち物：汚れてもいい服装
申込方法：申込みフォームまたは
本文末尾のメールまで（担当：星）

01 「つなぐ棚田遺産」
星峠の田んぼを
みんなで稲刈り&はさがけ



02 "日本三大薬湯"の
松之山温泉へ♪
※任意、入湯料は別途



03 ピザ窯でピザ作り
フルーツカルテット演奏も♪
星山ワーケーションハウス「izumiya」



お問い合わせ：090-3318-5156 (十日町市地域おこし協力隊・星)
h.hoshi168@gmail.com

棚田保全に興味を持つ若者、延べ100名以上が参加

6月 蒲生の棚田
田の草取りイベント
「ジョソササイズ」



今年復田した蒲生（かもう）の棚田で「チーム用賀」約20名が“除草×エクササイズ”

9月 星峠の棚田
稲刈り&はさがけイベント



“つなぐ棚田遺産”星峠の棚田で「チーム用賀」約40名が稲刈り&はさがけに挑戦

都市からの関係人口が棚田の存続の新たな力に！

里山に新たな力 世田谷チーム用賀



松代小学校150周年記念式典で音楽の共演が実現

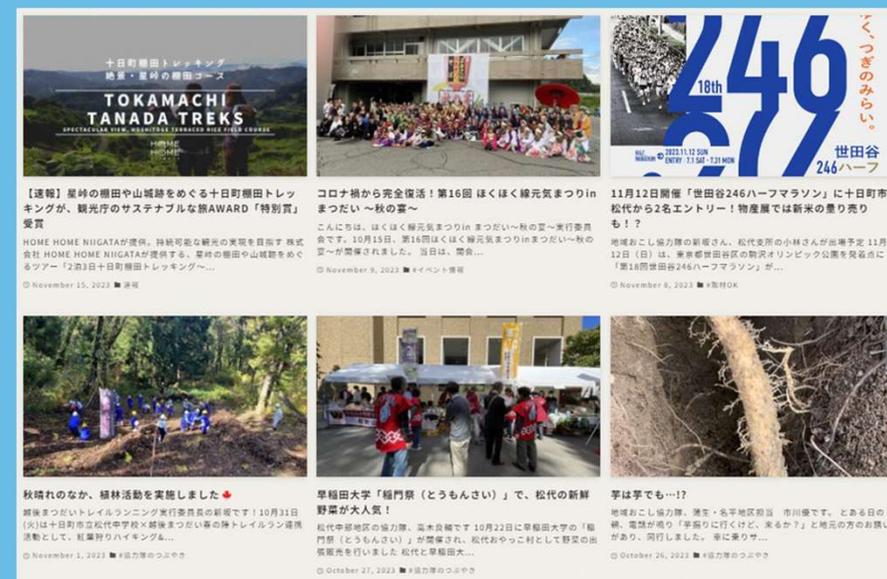
チーム用賀の御縁で、東京を中心に活動するアマチュアオーケストラの
「ユーгент・フィルハーモニカ」を招き、
松代小学校マーチングバンドとの共演が実現しました

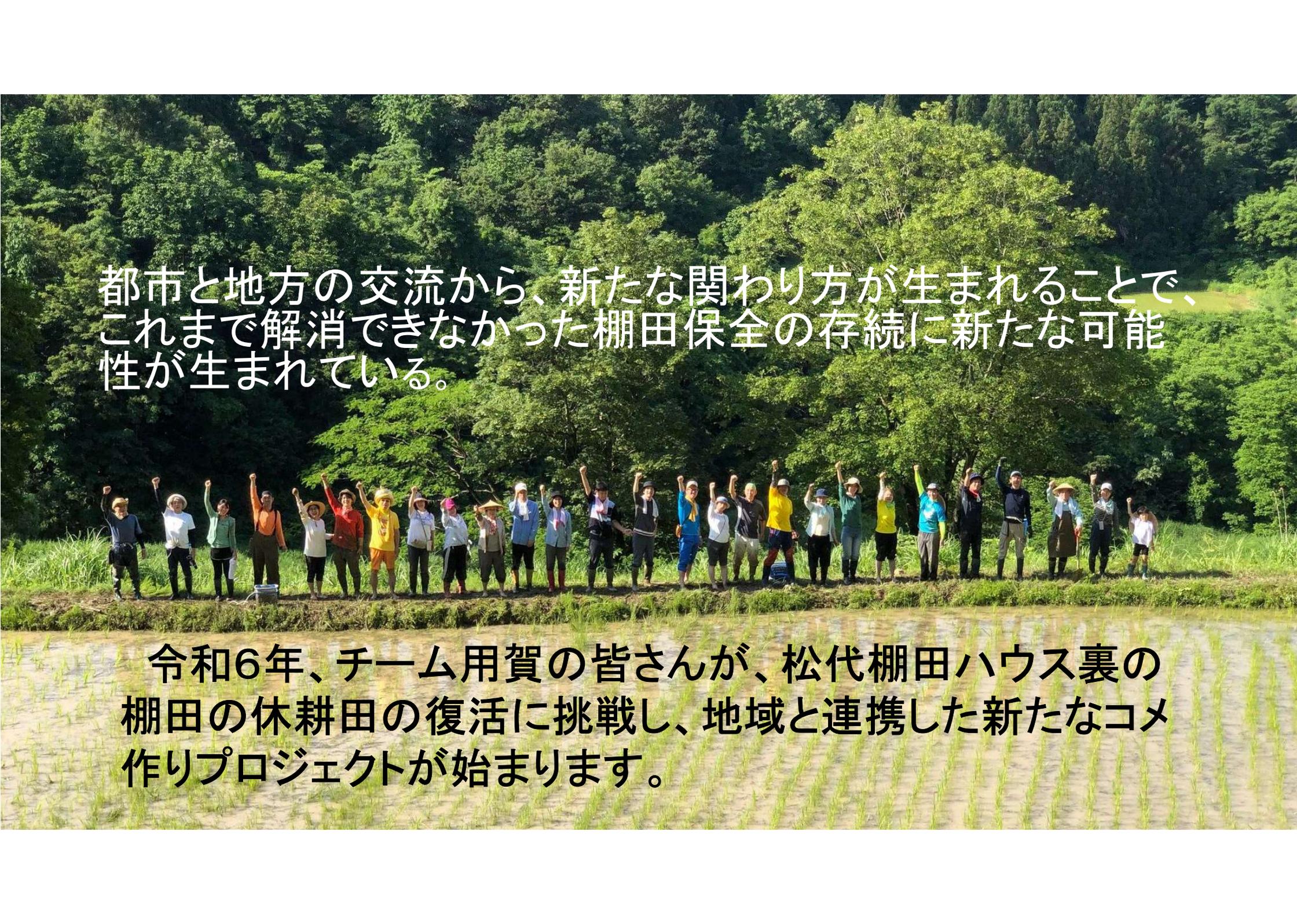


関係人口とつながるメディア 「越後松代ベース」始動



『越後松代ベース』は、観光から一步踏み込んで十日町市松代地域と関わりたい"関係人口"の皆さんが、松代と深く「つながる」ためのプラットフォームです。



A group of approximately 25 people, including men, women, and children, are standing in a line on the bank of a rice paddy. They are dressed in casual outdoor attire, many wearing hats and colorful shirts. Many of them have their right arms raised in a celebratory gesture. The background is a dense, lush green forest. The foreground shows the muddy water of the rice paddy with young rice seedlings planted in rows.

都市と地方の交流から、新たな関わり方が生まれることで、
これまで解消できなかった棚田保全の存続に新たな可能性が生まれている。

令和6年、チーム用賀の皆さんが、松代棚田ハウス裏の棚田の休耕田の復活に挑戦し、地域と連携した新たなコメ作りプロジェクトが始まります。



ご清聴ありがとうございました。

新潟県十日町市

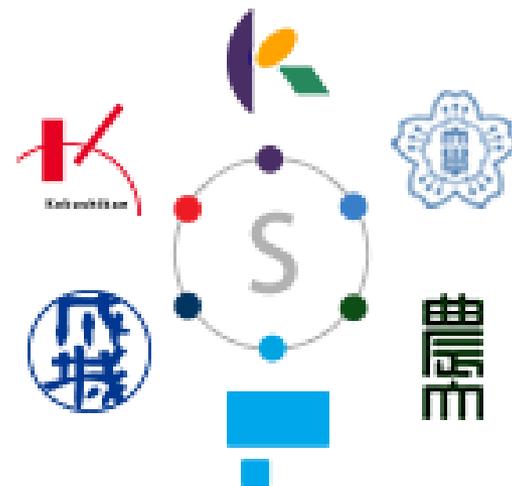


令和5年度 自治体間連携フォーラム

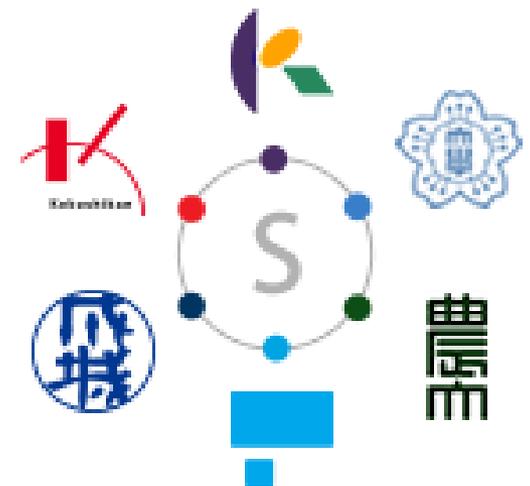
世田谷プラットフォームにおける自治体との 連携取り組み

日程：2023年12月8日(金)

世田谷プラットフォーム事務局



1. 世田谷プラットフォームの概要



世田谷プラットフォーム全体像

地域における高等教育の活性化、区内産業の活性化、地域振興の実現

ビジョン達成

5つのビジョン

文化・芸術・教育／地域活性／産業／国際化／大学連携

区内大学



国士舘大学



駒澤大学



昭和女子大学



成城大学



東京農業大学



東京都市大学

3者の連携

人的交流促進

人員派遣等

物的資源相互活用

施設の活用等

知的資源相互活用

公開講座の提供等

自治体



世田谷区



世田谷区と交流のある地方の自治体

事業の共同実施

イベント開催等

情報の公表

Webでの評価公開等

区内産業界

- ・ 東急株式会社
- ・ イッツ・コミュニケーションズ株式会社
- ・ 東急スポーツシステムズ株式会社
- ・ 東京商工会議所
- ・ 世田谷信用金庫

世田谷PF形成大学紹介



国士館大学 (12,686名)



駒澤大学 (14,409名)



昭和女子大学 (6,570名)



成城大学 (5,654名)



東京農業大学 (13,490名)



東京都市大学 (7,987名)

※ () 内は在学生数 (区外キャンパス所属学生及び大学院生含む) 2023年5月1日時点

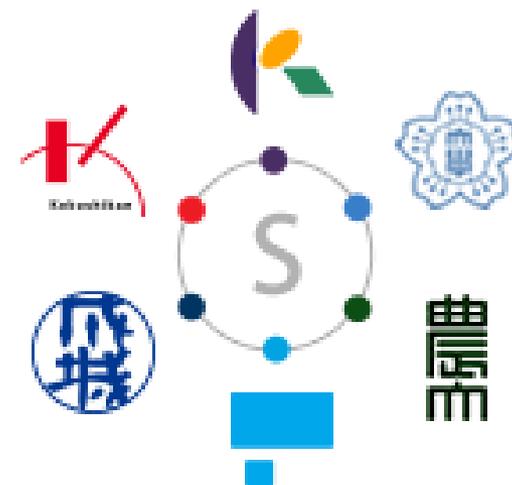
6大学の学術分野マップ (1/2)

			国士館大学	駒澤大学	昭和女子大学	成城大学	東京都市大学	東京農業大学
人文・社会科学	人文科学	文学	●	●	●	●	●	
		史学	●	●	●	●	●	
		哲学	●	●	●	●	●	
		その他	●	●	●	●	●	●
	社会科学	法学・政治	●	●	●	●	●	●
		商学・経済	●	●	●	●	●	●
		社会学	●	●	●	●	●	●
		その他	●	●	●		●	
自然科学	理学	数学		●			●	
		情報科学	●	●			●	●
		物理		●	●		●	●
		科学	●	●	●		●	●
		生物	●	●	●	●	●	●
		地学		●			●	
		その他	●			●		
	工学	機械・船舶	●				●	
		電気・通信	●	●	●		●	
		土木・建築	●		●		●	●
		応用化学		●				●
		応用理学	●					
		原子力		●			●	
		材料			●		●	
		繊維			●			
		航空						
		経営工学		●			●	
		その他			●		●	

6大学の学術分野マップ (2/2)

			国士舘大学	駒澤大学	昭和女子大学	成城大学	東京都市大学	東京農業大学
自然科学	農学	農学		●			●	●
		農芸化学			●			●
		農業工学						●
		農業経済		●		●		●
		林学						●
		林産						●
		獣医・畜産						●
		水産						●
		その他			●			●
	保健	医学	●	●	●		●	●
		歯学						
		薬学						●
		看護						
		その他		●			●	
その他	心理学		●	●	●	●		
	家政			●		●	●	
	教育	●	●	●	●	●	●	
	芸術・その他			●	●	●		

2世田谷プラットフォームの 5つのビジョンと活動指標



5つのビジョンと活動指標

文化・芸術・教育



世田谷の歴史・文化・芸術への理解・関心を高めるとともに、世田谷区内にある大学の教育リソースを提供することで、学びの場である地域の好感度醸成を図り、世田谷ブランドの向上を目指す。

【2023年 数値目標】 抜粋

- 公開講座提供数
→340件（実績296件）
- 教育支援活動実施の小中学校
→40校（実績28校）

地域活性



地域課題の解決や地域振興に向けた支援体制を構築し、「安心安全に暮らし、学び、遊べる街“世田谷”」の実現を目指す。

【2023年 数値目標】 抜粋

- 地域振興イベント開催・協力
→105件（実績112件）

産業



産学官の連携体制を構築し、新たな商品開発や区内における就労及び起業の促進をはかり、区内産業の活性化を目指す。

【2023年 数値目標】 抜粋

- 区内への就業者数
→180名（実績152名）
- 産業イベント開催・協力
→14件（実績8件）



国際化

東京オリンピック・パラリンピックとその後に向けた区内での国際化対応の向上による世田谷の魅力度上昇を目指す。

【2023年 数値目標】 抜粋

- 国際化推進イベント参画・協力→47件（実績8件）

大学等の連携



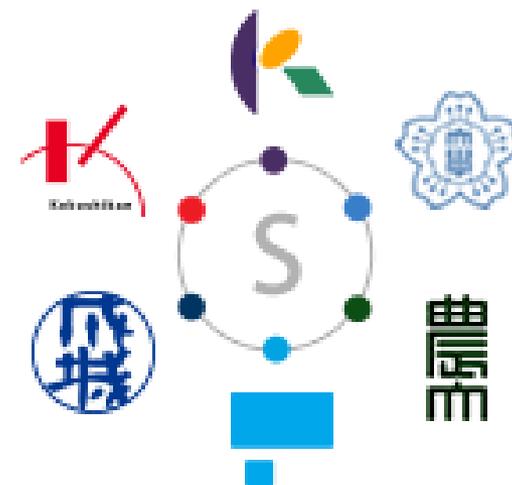
世田谷区内にある大学等が連携を強化し、学生の成長の支援体制を強化するとともに、世田谷区で学ぶことの魅力向上を目指す。また、区外の大学等とも連携を図り、世田谷区内にある知財を地方に波及させることを目指す。

【2023年 数値目標】 抜粋

- 参加校（大学・高専）数 → 7校（実績6校）

3. 世田谷プラットフォームの 取り組み紹介

(自治体との連携)



活動紹介（抜粋）

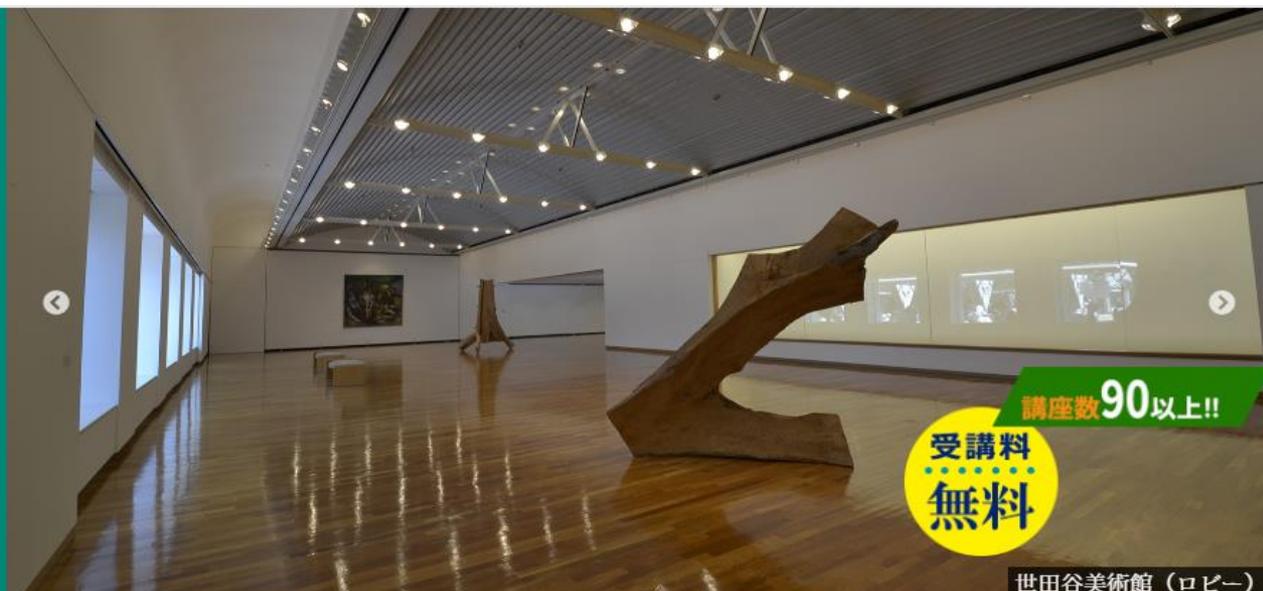
- せたがや e カレッジ(2004年度～)
- 【地域の教育支援活動】世田谷区立教育総合センター
STEAM教育講座の連携協力事業（2023年度）
- 社会人向け教育プログラム
ビジネスキャリアデザイン講座〈オンデマンド〉(2021年度～)
- 学生交流プログラム[キャリア部会]（2020年度～）

せたがやeカレッジ

せたがやeカレッジとは...

世田谷の 豊かな知識材を 無料で配信する学習サービス

世田谷区内6大学（国士舘大学・駒澤大学・昭和女子大学・成城大学・東京都市大学・東京農業大学）と世田谷区教育委員会が共同で運営する「生涯学習Webサイト」です。



講座数90以上!!

受講料
無料

世田谷美術館（ロビー）

開催団体で絞り込む 選択して「検索実行」を行ってください、複数選択もできます。



国士舘大学



駒澤大学



昭和女子大学



成城大学



東京都市大学



東京農業大学



世田谷区

【地域の教育支援活動】

世田谷区立教育総合センターSTEAM教育講座の連携協力（2023年度）

実施日	大学名	テーマ名
8月17日（木）	東京農業大学	昆虫を顕微鏡で見よう！
8月22日（火） 8月23日（水）	成城大学	初めてでもできる！音楽プログラミング
8月30日（水）	国士舘大学	骨パズルを完成させよう！
8月30日（水）	昭和女子大学	「伝わる」動画の撮影テクニックを学ぼう！
8月30日（水）	東京都市大学	見えない放射線を見よう！
8月31日（木）	駒澤大学	日本語のおもしろさを知ろう～将来の夢は・・・作家？翻訳家？

社会人向け教育プログラム

2022年度開講 「ビジネスキャリアデザイン講座Ⅱ」

- ・ **対象** 入社5年前後のビジネスパーソン
- ・ **テーマ** 将来マネジャーとして活躍するための知識獲得
- ・ **講座形態** 無料のオンデマンド型
- ・ **プログラム構想** おもに下記テーマカテゴリーで全7講座開講
ビジネススキル系/メンタルヘルス系/情報インプット系/コミュニケーション系
- ・ **開講状況** 2022年9月下旬より6大学7科目（11講座開講）
- ・ **のべ受講者数** 約557名（2023年6月末現在）

※2023年10月末から

継続プログラム「ビジネスキャリアデザイン講座Ⅲ」を配信

学生交流プログラム（キャリア部会）

2020年度

日 時：2020年9月4日、11日（区内大学の1年生25名が参加）オンラインツール「Zoom」にて開催

2021年度

日 時：2021年9月3日、10日の両日で2020年度同様オンラインツール「Zoom」を活用して開催

2022年度

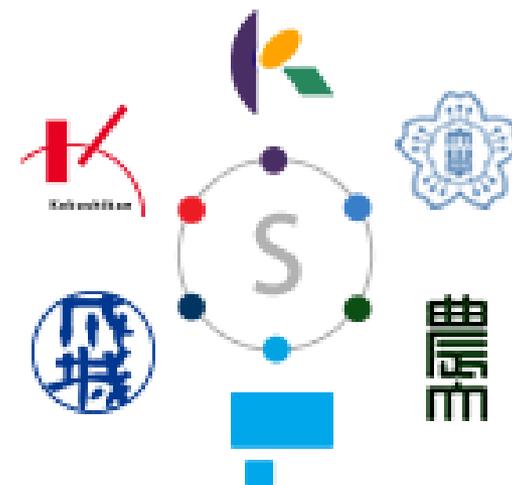
日 時：2022年8月31日、9月7日の両日、3年ぶりに対面にて開催

2023年度

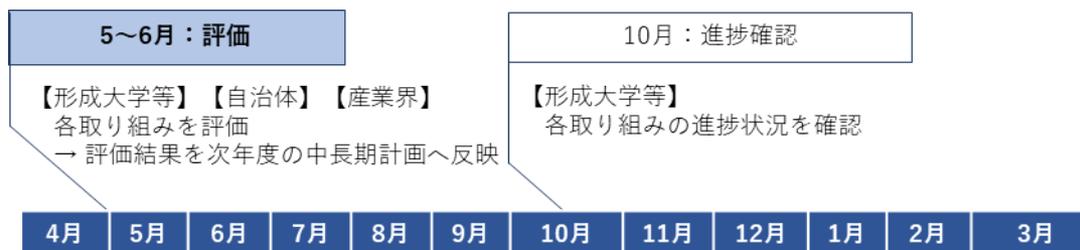
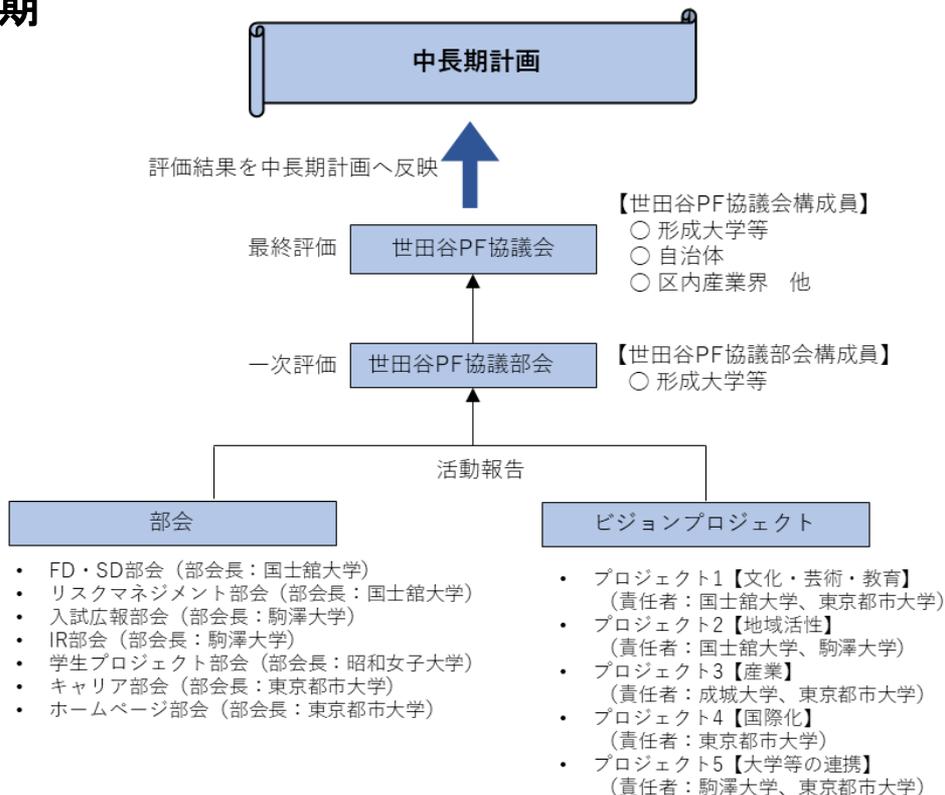
日 時：2023年8月25日、9月4日の両日、対面にて開催

区内大学の学部1年生を対象とし、「働く」とは何かを考え、区内就業への意識を高めることも目的の一つとしている。今回は1年生12名が参加。1日目には「働く」とは何かを学び、自分達の考えやイメージを整理・共有した。2日目には、世田谷区からいただいた課題についてグループ毎にアイデアを検討し、プレゼンテーションを行った。また、世田谷区内企業を含めた社会人ゲストをお呼びし、生の声をお聞きした。最後の振り返りでは、迷ったらまず行動をすることの重要性を知ったとの意見が挙がった。なお、本プログラムは、世田谷プラットフォームキャリア部会中心にプログラムの企画・運営を行い、世田谷区、区内産業界と連携して実施した。

4. 世田谷プラットフォームの評価



評価体制と評価の時期



→ 計画の実施

2022年度 世田谷プラットフォーム 中長期計画に関する進捗状況並びに評価について

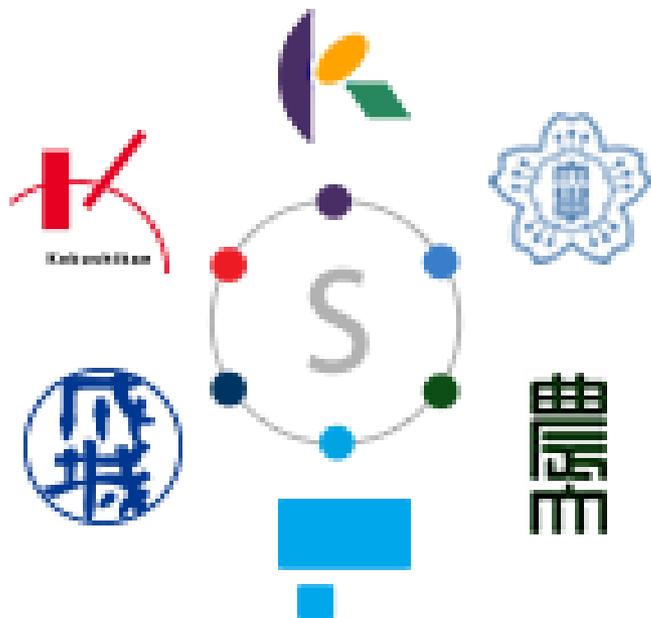
総合評価

評価*	理由
B	<p>世田谷プラットフォームにおいては、中長期計画（平成30年度～令和5年度※令和5年度は1年間延長期間）に基づき各取り組みが進められている。運営体制については、意思決定機関としてプラットフォームを形成する全大学、地方自治体及び産業界等からなる協議会、形成大学間での協議の場として協議部会が、それぞれ定期的に年4回開催されており、各取り組みに対応する各部会、各ビジョンプロジェクト、共同事務局等が設置され、各組織の役割が整備されている。また、評価する仕組みとして評価時期を定め、進捗確認を含めた評価体制を構築し、評価結果を次年度計画へ反映する体制なども整備されている。5年連続して私立大学等改革総合支援事業（タイプ3）に採択され、一定の継続的成果を得られている。しかしながら、計画の検討に留まり、十分に機能していない部会があるなどの課題が残っている。また、新型コロナウイルス感染症の収束が見込めず、事業の遅延があることから、当初の5年間で第1期計画期間とした中長期計画を1年間延長し、次期計画は第1期中長期計画の評価結果を検証しながら策定することとした。</p> <p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、当初の計画が取り留めず、目標達成ができなかった活動もあったが、各大学独自の活動と場所や時間に制限されないオンラインを有効活用した取り組みは活発に行われ、感染対策を講じ対面での取り組みも徐々に行うことができた。各大学独自では、防災教育や学生ボランティアの派遣に積極的に取り組みを進め、昨年度に引き続き社会人向け「ビジネスキャリアデザイン講座Ⅱ」や e-Learning 方式を含む「公開講座提供件数」なども、数値目標を大きく上回り達成することができた。また、世田谷区立教育総合センターにおけるSTEAM教育講座には、6大学が特徴のある講座を出展し、大変盛況であった。令和5年度も継続して出展できるよう企画の検討を進めており、今後の世田谷プラットフォームのさらなる活躍が期待される。</p>

※ 評価は A～D の 4 段階評価

- A：中長期計画の進捗状況や各取り組みの成果が極めて良好な状態
- B：中長期計画の進捗状況や各取り組みの成果が概ね良好な状態
- C：中長期計画の進捗状況や各取り組みの成果が悪く、改善が必要な状態
- D：中長期計画の進捗状況や各取り組みの成果が非常に悪く、見直しが必要な状態

2023年7月5日
世田谷プラットフォーム協議会



ご清聴
ありがとうございました